

回復のために

アルコール依存症は「**心身の病気**」です。専門治療により「**回復可能な病気**」です。
社会での「誤解と偏見」の中で苦しんでいた多くの方が回復し、社会生活を送っています。

アルコール依存症を正しく理解していただくため、**教育・学習プログラム**を中心にしています。

【アルコール リハビリテーションプログラム】

当院のアルコール治療には、入院診療と通院診療の2つの方法があります。
プログラム内容は

- 学習会 ● レクリエーション(体力作りなど)
- ミーティング ● 認知行動療法 ● 外泊訓練

などがあります。
※都合により内容の変更があります。

【家族教室】

「家族の回復」と「病気」としての理解を深めていただきます。同じ苦しみを抱えた家族との「出会い」、回復の「気づき」も大切なことです。

【クラフト法】

- ① 家族の幸福度を高める
- ② 本人を病院に受診してもらうため
- ③ 本人の飲酒を減らすため などを目的としています。

【院内自助グループ めばえ】

お酒の飲み方に関して悩んでいる方や、病気から回復された方が集まり、安心して語り合える場です。

【自助グループへの参加(地域での回復)】

本人と家族の新たな再生のためには、継続的な断酒、自己回復が必要です。
地域の自助グループ(断酒会・AA)にも、ぜひ参加して下さい!

【アルコールデイ・ケア】

通所で回復を目指すためのデイ・ケアを併設しています。
飲まない時間を作る、生活リズムを作る、仲間作りなどを目的としています。

診療のご案内

月曜日～土曜日 午前9:00～11:00(日曜、祝祭日休診)
(土曜日は隔週休診)

- 完全予約制となっておりますので事前に電話で確認をお願いします。
- 受診時は、飲酒せずに来院して下さい。

電話相談・家族相談

- 「精神科」への抵抗感もあって電話での「相談」から受診することを決意される方もいらっしゃいます。
- 「本人に治療意欲がなく困り果ててしまった」、「どこに相談したらいいのかわからない」と電話相談されるご家族もいらっしゃいます。

まずお気軽に電話して下さい!

「回復への第一歩」は電話することから始まります!

電話 0566-21-3511

(受付時間 9:30～16:30)

交通のご案内



電車

- JR東海道線刈谷駅
南口下車 徒歩10分
- 名鉄三河線刈谷駅
南口下車 徒歩10分



車で

- 岡崎方面からお越しの方
国道23号線 野田インターを降り、県道48号の半城土町の信号を右、下重原町の信号を左に曲がり300m
- 名古屋方面からお越しの方
国道23号線 上重原インターを降り、県道51号の昭和町の信号を左に曲がり2km



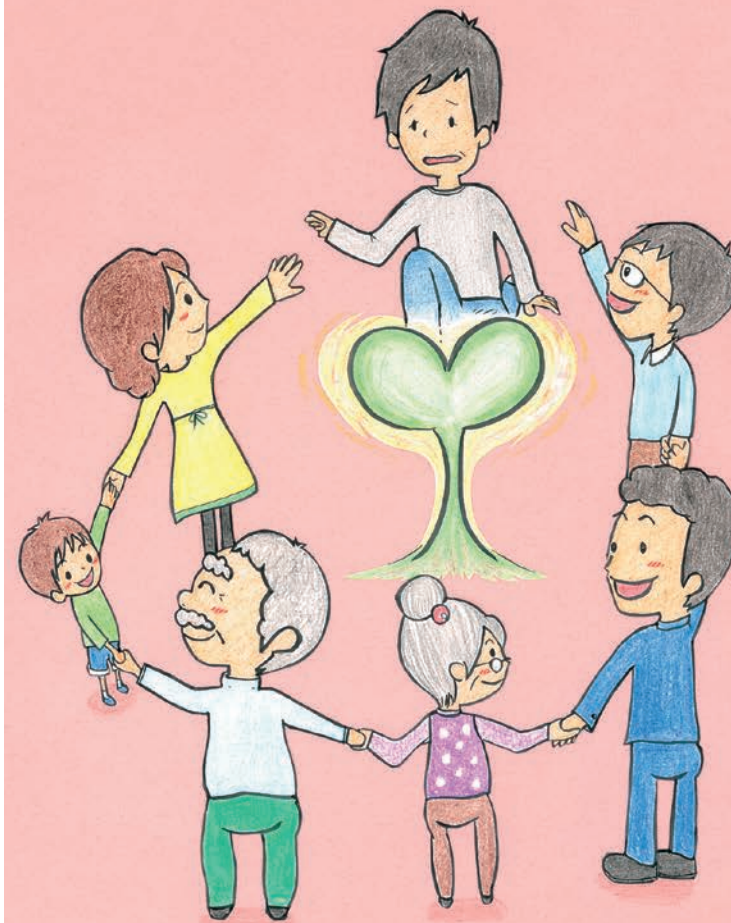
精神科・神経科
医療法人 成精会

刈谷病院

〒448-0851 愛知県刈谷市神田町2-30
TEL (0566)21-3511 FAX (0566)21-3536

<http://www.kariya-hp.or.jp>
携帯HP <http://www.kariya-hp.or.jp/i>

お酒でこまっていませんか?



精神科・神経科

医療法人 成精会

刈谷病院

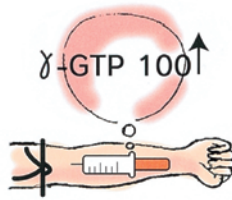
愛知県依存症専門医療機関 愛知県依存症治療拠点機関

アルコール依存症とは？

アルコールは「酔い」をもたらす依存性薬物です。アルコール依存症は多量のアルコールを長時間飲み続けることによって、誰もがかかる「**心身の病気**」です。「**慢性で進行性の病気**」のため、進行するにつれ、次のようなことが起こってきます。

● アルコールによる身体の病気

肝臓、膵臓、胃腸、糖尿病などで何回も内科病院に入退院を繰り返す。



● 職場などへの影響

週末からの大量飲酒で出勤できない。休むための口実を考えたり、理由のない無断欠勤が続いたりする。

● 飲み方の異常・酔い方の異常

朝酒、かくれ飲み、かくし酒、一気に飲み、連続飲酒、飲んではいけない時にも飲んでしまうなど、飲む量、時間、場所がコントロールできなくなる。酔っているときの言動が思い出せない。



● 離脱症状

酒がないと眠れない、イライラする、冷や汗が出る、手が震える、動悸、不安、不快感など。



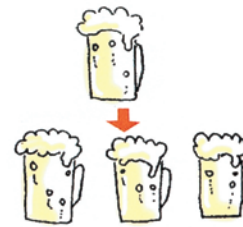
● 家庭などへの影響

夫婦間の不信感が高まり、絶えず夫婦ゲンカを繰り返す。ついには、家庭崩壊に至る。



本人の悩み・苦しみ

- 飲まない家事や育児に対して、やる気が起きない。
- 一杯で止めようと思っても止められない。
- 飲んでしまった自分に対して、罪悪感、自責の念、自己嫌悪感を持ってしまう。
- 自分でも酒量を減らしたいと思っているが、つつい元の飲み方に戻ってしまう。
- 自分でも何とかしたいと思っはいるが、どうにもならない。家族に自分の飲酒問題を注意されると、無性に腹が立ってくる。
- 何回も量を減らそうとしたり、今日こそは飲まないようにしたいが、時間がくると飲んでしまう。そんな自分は「意志が弱い」、「人間的に情けない」と思ってしまう。
- 問題行動(感情爆発、飲酒事故、暴力、金銭問題など)を起こしては、あとでいつも後悔する。しばらくはいいが、同じ問題を繰り返す。
- 周囲からの「孤立」を感じる。どうにもならない思いにかられ、「死にたい」と思ったりする。



■ こんなに大勢が苦しんでいる！

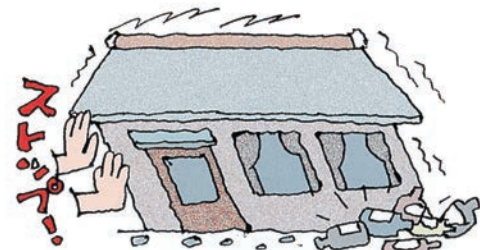
日本総人口 約1億2,700万人
 飲酒者 8,428万人
 多量飲酒者 980万人
 アルコール依存症と予備軍 294万人
 診断基準によるアルコール依存症者 109万人

厚生労働省研究班調べ
 (平成25年の調査結果を平成24年10月の日本人口で年齢調整した値と推計値)



家族の悩み・苦しみ

- 本人の飲み方をみて「意志の弱い人」と思う。
- 説教したり、なだめたりする。つつい口調もきびしくなり、子供に当たる。
- 本人の飲酒問題に振り回され、一喜一憂する。人間的に情けない人と思ってしまう。
- 本人の「飲む」、「飲まない」がいつも苦になる。「無視」しようと思うが気になってしまう。
- 「約束の守れない人」、「何も信頼できない人」、「夫婦、親として最低の人」と思う。こんな人と結婚した自分は不幸だと思ってしまう。
- 怒りを感じながら、本人の飲酒によって生じた問題を尻拭いする。このような生活がいつまで続くのか絶望する。
- 何もやる気が起こらない。本人が死んでくれたらと思ったり、時に殺したいと思えてくる。自分の親、兄弟にも話せない。「孤独」を感じ、自分でも死にたくなる。逃げ出したい。



どうにもならなくなる

